

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2018-516105 (P2018-516105A)

【公表日】平成 30 年 6 月 21 日 (2018.6.21)

【年通号数】公開・登録公報 2018-023

【出願番号】特願 2017-552025 (P2017-552025)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 L 2/28 (2006.01)

A 6 1 L 2/18 (2006.01)

A 6 1 B 1/12 (2006.01)

A 6 1 L 101/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 6 5 0

A 6 1 L 2/28

A 6 1 L 2/18

A 6 1 B 1/12 5 1 0

A 6 1 L 101:32

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 1 日 (2019.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

最後に、消毒される内視鏡と同じ直径を有する同一長さの管類がスプールのまわりに巻かれ、流れが監視デバイスの遠位端に取り付けられた生物学的 / 化学的組み合わせインジケータを通過する、「マクロ的」なチャレンジデバイスを有することが可能である場合もある。

[付記]

(付記 1)

(a) 液体入口及び液体出口を備え、前記入口及び出口がチャネルによって接続され、前記チャネルが内視鏡の幾何学的形状を模した曲がりくねった経路として設計され、

(b) 前記チャネル内に位置付けられた少なくとも 1 つのインジケータを備える、液体消毒段階用のプロセスチャレンジデバイス。

(付記 2)

前記チャネルが 1 次経路及び 1 つ以上の 2 次経路を有する、付記 1 に記載のデバイス。

(付記 3)

前記少なくとも 1 つのインジケータが 2 次経路に沿って位置付けられている、付記 2 に記載のデバイス。

(付記 4)

前記デバイスが少なくとも 1 つの化学的インジケータ及び少なくとも 1 つの生物学的インジケータを含む、付記 1 に記載のデバイス。

(付記 5)

前記デバイスが概ね平坦である、付記 1 に記載のデバイス。

(付記 6)

A E Rにおける消毒の質を判定する方法であって、

a . 前記 A E R 内に、

i . 内視鏡の幾何学的形状を模した曲がりくねった経路として設計されたチャンネルによって接続された液体入口及び液体出口と、

i i . 前記チャンネル内に位置付けられた少なくとも1つのインジケータと、を含むチャレンジデバイスを提供することと、

b . 所望のプロセス条件が満たされているかどうかを確認するために前記インジケータを分析することと、を含む、方法。

(付記 7)

前記チャンネルが1次経路及び1つ以上の2次経路を有する、付記6に記載の方法。

(付記 8)

前記少なくとも1つのインジケータが2次経路に沿って位置付けられている、付記7に記載の方法。

(付記 9)

前記デバイスが、少なくとも1つの化学的インジケータ及び少なくとも1つの生物学的インジケータを含む、付記6に記載の方法。

(付記 1 0)

前記デバイスが概ね平坦である、付記6に記載の方法。

【 手続補正 2 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 特許請求の範囲 】

【 請求項 1 】

(a) 液体入口及び液体出口を備え、前記入口及び出口がチャンネルによって接続され、前記チャンネルが内視鏡の幾何学的形状を模した曲がりくねった経路として設計され、

(b) 前記チャンネル内に位置付けられた少なくとも1つのインジケータを備える、液体消毒段階用のプロセスチャレンジデバイス。

【 請求項 2 】

A E Rにおける消毒の質を判定する方法であって、

a . 前記 A E R 内に、

i . 内視鏡の幾何学的形状を模した曲がりくねった経路として設計されたチャンネルによって接続された液体入口及び液体出口と、

i i . 前記チャンネル内に位置付けられた少なくとも1つのインジケータと、を含むチャレンジデバイスを提供することと、

b . 所望のプロセス条件が満たされているかどうかを確認するために前記インジケータを分析することと、を含む、方法。

专利名称(译)	自动内窥镜清洗装置的工艺挑战装置		
公开(公告)号	JP2018516105A5	公开(公告)日	2019-05-09
申请号	JP2017552025	申请日	2016-04-05
[标]申请(专利权)人(译)	明尼苏达州采矿制造公司		
申请(专利权)人(译)	3M创新公司		
当前申请(专利权)人(译)	3M创新公司		
[标]发明人	ジーマルコボンマリト		
发明人	ジー.マルコ ボンマリト		
IPC分类号	A61B1/00 A61L2/28 A61L2/18 A61B1/12 A61L101/32		
CPC分类号	A61L2/18 A61B1/122 A61B1/125 A61B2090/701 A61L2/24 A61L2/28 A61L2202/122 A61L2202/24		
FI分类号	A61B1/00.650 A61L2/28 A61L2/18 A61B1/12.510 A61L101/32		
F-TERM分类号	4C058/AA15 4C058/DD15 4C058/JJ08 4C161/GG11 4C161/JJ08 4C161/JJ11		
代理人(译)	青木 笃 高桥雅俊 川原肇		
优先权	62/145323 2015-04-09 US		
其他公开文献	JP2018516105A		

摘要(译)

本公开内容描述了一种新颖的监视系统，其允许用户验证由自动内窥镜清洁装置（AER）提供的消毒循环的有效性。本公开提出了使用结合到过程挑战装置中的化学和/或生物指示剂的使用，所述过程挑战装置模仿由在AER中处理的内窥镜造成的问题。